

新潟県連ハイキング に参加して



巻支部 松山 豊明

開催日 平成28年10月1日

開催場所 新潟県村上市

税理士国保新潟県連主催による第8回健康づくりハイキングが平成28年10月1日に村上市にて開催されました。

当日は、近年の天候不順の網の目をかいくぐり、ほどよく晴れ渡り、新潟県の各支部の会員と会員の社員やご家族が102名集まりました。

まず、開会式は瀬波温泉「大観荘」で午前9時半より行われました。今井県連国保理事長の開会の辞の後、実行委員長の村上支部の伊藤支部国保長・国保本部から和久井国保副理事長・高野県連会長・片山税協理事長よりのご挨拶の後、村上支部の鈴木支部長よりコース説明がありました。

村上市は3～4月に「町屋の人形さま巡り」と今回の9～10月に「町屋の屏風まつり」が行われており、今回はこの屏風まつりを見ていただきたいとのことで鈴木支部長を中心に村上支部と近郷の支部で企画されました。

準備体操の後、バスにて村上市街へ移動し、10グループに分かれてボランティアガイドさんにより村上市の町屋を案内していただきました。

この「屏風まつり」は、前述の通り毎年9月中旬から10月中旬の1ヶ月間、村上市の城下町のお店を中心として各家に伝わる屏風の数々を一般に展示披露する祭りで、普段は入れない家の奥にまで入って見られる行事で、今年で16回目の町興しの催しものです。

屏風は家々ごとに全て違うものが見られ、また、ガイドさんの説明に参加者の皆さんは目とミミ全開で大変興味深い様子でした。

村上市は城下町として町並みが設計されていて、例えば、敵が攻めてきた時のために敵の隠れる場所をなくすため隣との境がなく家と家がくっついており、様々な工夫を盛り込んだ町並みになっているようです。

ボランティアガイドさんの説明に一瞬「ブラタモリ」を思い出し、これは「ぶら国保」だなど豪華な気分になりました。ガイドさんも「タモリさん、村上市に来てくれたらなー」とのことです。

町屋を約2時間ほど歩いた後、一同は大観荘へもどり、昼食会に。昼食会では、鈴木支部長のご家族の隠し芸で盛り上がりました。なんと、奥様と娘さんのお琴をバックに「ちいさい秋みつけた」などの唱歌をみんなで合唱。奥様は昨年習い始め、娘さんは今年の春から習ったばかりとのこと。鈴木支部長はじめご家族の皆様、お疲れ様でした。

今年は、足腰の健康と村上市の歴史や町並みなど知識で頭の健康とダブル健康で充実感を味わった行事だったのではないのでしょうか。

企画・実行に関わった役員の皆様、村上支部の皆様ありがとうございました。

ところで、このハイキングは8年前の長岡丘陵公園から始まり、開催各支部の国保長が中心となって新潟県の県連国保が企画・実行している行事で、参加者は国保組合の組合員であるかは問わず、毎回100人以上が集まり好評を得ている催しです。県レベルのこのような大規模な催し物はこれ以外になく、参加者も国保組合員以外の方も多く国保の活動を知っていただく、またとない機会です。新潟県連国保では今後もこの催し物を継続していく予定で、次回は新津支部で7月の開催予定とのことです。

